

平成30年10月12日

羽生市議会議長 斉藤 隆 様

羽生市議会 薫風会 奥沢 和明 印

## 行政視察報告書

行政視察を下記の通り実施したので報告いたします。

### 1: 背景

市内の課題を解決するため、羽生市と他の自治体の政策を比較・検討し、羽生市の抱える課題に新たな視点から取り組む必要がある。

### 2: 目的

先進的な政策を実行している自治体から学びを得て、市民福祉の増進に寄与する。

### 3: 視察参加者

薫風会メンバー: 丑久保議員 奥沢議員 松本議員 永沼議員 本田議員 峯寄議員

### 4: 視察概要

1) 日時: 2018年8月7日(火)

2) 場所: 埼玉県上尾市、東京都板橋区

### 3) 視察内容

#### ■埼玉県上尾市「上尾市の公共施設マネジメントについて」

今後の公共建築物公共施設等の整備・修繕・更新・管理運営等について、現況及び将来の見通しを踏まえ、経営的な視点から総合的かつ計画的に取り組む必要があるため、効率的で効果的なマネジメントの実施により質と量の適正化を図り、安心・安全で持続可能な公共施設等の維持を実現させるために、上尾市の公共施設マネジメントの方針として策定された

#### 【マネジメントの原則】

1) 施設の複合化や多機能化及び更新の際に必要とされる機能の峻別と保管により総量を縮減し、新規整備は抑制する。

#### 2) 都市基盤施設

ライフラインの確保を最優先とし、効率的に長寿命化を進め、経費の縮減と平準化を図り、都市基

盤施設の新規整備・改修・更新を実施する。

#### 【実施方針】

##### 1) 維持管理・修繕・更新等の実施方針

- ・計画的な維持管理と修繕により、経費の平準化と縮減を図る。
- ・公共建築物は本来必要とする機能補完等を除き、現状規模と同等以下で更新する。
- ・都市基盤施設は、原則、長寿命化により、既存施設を可能な限り使い切る。

##### 2) 点検・診断等の実施方針

- ・定期的な点検・診断等により施設状態を把握し、物理的な供用限界まで施設を維持する。
- ・点検・診断等で得られたデータを蓄積し、更新・修繕・改修時期を判断する基礎資料とする。

##### 3) 安全確保の実施方針

- ・高度な危険性が認められるものは、利用停止措置など安全確保のうえ、早急に対処する。
- ・老朽化等により利用見込みがない施設は、侵入防止等を行って、早期に除去する。

##### 4) 耐震化優先の実施方針

- ・旧耐震基準の公共建築物の耐震化は、既存の耐震化計画に基づき診断・補強する。
- ・都市基盤施設、特にライフラインの耐震化は、個別計画で具体的に定め、優先的に実施する。

##### 5) 長寿命化の実施方針

- ・経済性や立地等を考慮の上、長寿命化の定義に基づき実施する。
- ・目標耐用年数を設定し、必要とされた施設については、この基準以上に機能を維持する修繕・改修・補強工事等を適宜行う。

##### 6) 統廃合・多機能化・除去・処分の実施方針

- ・公共建築物の更新・長寿命化の際、機能集約・再配置・統廃合・多機能化等を積極的に検討する。
- ・廃止と判断した施設は、早期に利用を停止して運営経費の削減を図る。
- ・資産の有効利用を検討し、利用見込みのない不要資産は、売却または除去する。

#### ■東京都板橋区「板橋区における公共施設の集約・複合化の推進について」

板橋区では、平成25年段階で490施設、延べ床面積85.1万平方メートルのしせつを保有している。今後多くの施設の老朽化が進む中で、そのすべてを現状のまま維持・管理していくための経費は大きな財政負担となり、ひいては他の区民サービスの低下や税金を納めている区民一人一人の負担増にもつながりかねないことが予想された。そのため、公共施設の概況と整備の方向

性を明らかにし、適切なコスト管理による計画的な整備と将来需要を見通した最適化に向け、いわゆる「公共施設白書」として、平成25年5月に「公共施設等の整備に関するマスタープラン」を策定した。マスタープランで定めた今後の施設整備に向けた基本方針及び未来志向のマネジメント方針に基づき、平成27年5月に個別整備計画を策定した。

#### 【個別整備計画策定の目的】

##### 1) 次世代への安心・安全かつ魅力ある公共施設を引き継ぐために

マスタープランで定めた今後の施設整備に向けた基本方針及びそれに基づく3つの未来志向の公共施設マネジメント方針に基づき、工事にかかる仕様や内容の見直しによる改築・改修等の経費縮減・年度間平準化をはじめとする適切なコスト管理、将来を見通した需要の最適化に向けた施設の適正な配置を推進・実践していくための実施方針や工程表を定める。

##### 2) 安心・安全な公共施設づくり

公共施設を計画的に維持管理していくためには、大規模改修や修繕、定期点検などが必要であり、これらには多額の費用がかかる。一方で、板橋区が保有する公共施設の多くが建設から30年以上経過し、改築や大規模改修の時期を迎えており、更新費用の増大が見込まれている。公共施設を適切に維持管理していくためにも、板橋区の財政状況に見合った施設総量へ抑制し、安心・安全な施設づくりを目指す。

##### 3) 時代の要請に対応した魅力ある公共施設づくり

単に公共施設の廃止・縮小を推進することを目的とするだけでなく、施設の機能転換や複合化等により施設総量を抑制しつつも施設の質を充実させ、効率的・効果的なサービスの提供などにより、時代の要請に対応した魅力ある公共施設へと再構築し、持続可能な区政の実現と継続的な行政サービスの提供を図っていく事を目指す。

#### 【公共施設の集約・複合化の基本的な考え方】

##### 1) 公共施設の総量抑制に向けて

- ・施設の耐用年数に余裕があり、転用可能な未利用・低利用スペースがある場合は、他用途・機能を受け入れる。
- ・耐用年数を迎えている施設で引き続き行政需要がある場合は、周辺施設への集約・複合化を検討する。

##### 2) 魅力の創造と行政サービスの維持向上に向けて

- ・一つの建物内で提供するサービスを多機能化し、行政サービスの利便性向上や更なる地域交流や世代間交流を促し、にぎわいの創出・地域の活性化につなげる。
- ・空間的・時間的に効率よい施設活用により、管理運営経費(ランニングコスト)の縮減を図る。

## 5: 議員所見

### ①奥沢議員

上尾市、板橋区の事例を参考にし、市民生活サービスの向上につながる計画策定に努めたいと考えます。

### ②松本議員

公共建築物総量を縮減し、新規整備は抑制し、維持管理については、計画的な経費の平準化と縮減を図ることが重要であると感じました。

### ③永沼議員

羽生市も市民プラザのあり方が議論されています。改修するにしても新築するにしても、コストとともに、なによりも市民に使いやすい、親しまれるコンセプトが重要であることを痛感しました。ご案内いただいた事務局の方が埼玉県草加市出身でご友人に羽生市民がいらっしゃるとのことです、一層、ご縁を感じた次第です。

### ④本田議員

公共施設の複合化計画は、羽生市も見習うべきである。

### ⑤峯寄議員

羽生市でも喫緊の課題である公共施設の維持管理について、先進事例を学ばせていただきました。コストの平準化はもとより、何より重要なのは住民とコンセンサスを取ることであると感じました。上尾、板橋共に、統廃合の平均的な達成期間は約8年とのこと。公共施設に無駄な物はありません。住民との丁寧な議論が物事を前に進ませる要因であります。

### ⑥根岸議員

公共施設の統廃合における生の声を聞かせて頂きました。羽生市にも活かしていきたいです。

### ⑦丑久保議員

施設の集約、複合化を展開しながら、一方で、施設の長寿命化にも懸命に取り組んでいました。自治体の財源には限界があり、施設維持が大きな重荷になっていく事は将来的に間違いありません。早期の対策が必要であると感じました。